

# 道内市町村と連携した魅力発信などにより、北海道全体を活性化

問い合わせ先 札幌市市長政策室政策企画部企画課

☎ 011-211-2192 ■ <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/renkei/>



■「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考えの下、道内市町村が札幌の都市機能を活用し、将来も魅力あふれる札幌・北海道であるための様々な取組を推進



道内連携プロジェクト ポスター

## 取組の背景 札幌と道内市町村が連携した北海道全体の活性化が課題に

- 札幌市の人口はこれまで増加傾向にあったが、ここ数年のうちに減少傾向に転じることが予測されている。また、札幌市を支えている生産年齢人口(15歳以上65歳未満の人口)は既に減少が始まっており、今後、さらに減少することが見込まれている。
- こうした状況の中、札幌の魅力や経済活動は、北海道全体の人々・自然・資源などの魅力に支えられたものであり「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考えの下、北海道や道内市町村との連携を深め、北海道全体を活性化していくことが課題となっていた。

## 取組の概要 札幌の都市機能を活かし、北海道全体を活性化

- 平成25年度から、北海道の中心都市として、北海道が持つ豊かな資源との連携や道内の経済循環の促進、北海道全体の魅力発信、道内市町村との互恵的な関係を築いていく「道内連携プロジェクト」を展開し、札幌市の職員が道内各地域を回る「ぐるっと地域訪問」を実施し、札幌市との連携に向けた地域のニーズの把握や、意見交換を継続的に実施している。
- 市町村の声を受け、札幌市の都市機能(流通や集客力)を活用しやすくするため、以下の取組を開始した。
  - ・つながる地域ホットライン(連携に関する総合相談窓口)
  - ・さっぽろ活用促進ゼミ(札幌の施設や広報媒体などの視察、民間企業などによる講演を実施)
  - ・札幌☆取扱説明書(札幌の施設や広報媒体、その活用事例などを紹介する冊子を作成し、道内市町村などに配布)
- 札幌市民の道産品の購入や道内周遊を促進するため、以下の取組を実施している。
  - ・道産品のアンテナショップにおいて、道内市町村が出展する際の費用を札幌市が支援する「お試し出展」(平成25年度事業)
  - ・道内各地で開催されたフォトコンテストの優秀作品を札幌市内で展示する「いいとこ撮り北海道～フォトコンサミット in Sapporo」

## 取組の成果 相談や出展が活発となり、連携の輪を拡大

- 「つながる地域ホットライン」への相談件数が累計114件(平成27年8月現在)、「さっぽろ活用促進ゼミ」には累計60団体、134名が参加、「札幌☆取扱説明書」は道内市町村や観光関連団体などに1,000部配布後、地域からの要望により1,000部増刷するなど、連携の輪が広がってきている。
- 札幌市民の道産品の購入や道内周遊を促進する取組である「お試し出展」では、29市町村90品の出展のうち、12品が継続販売につながった。また、「いいとこ撮り北海道～フォトコンサミット in Sapporo」においては、過去2回の開催で、写真の出展やステージイベントなどに延べ111の市町村や地域が参加・協力し、約4万人が来場した。



いいとこ撮り北海道～フォトコンサミット in Sapporo (市町村 PR ステージ)



さっぽろ活用促進ゼミ (中央卸売市場視察)



札幌☆取扱説明書

## 地方分権改革との関連

- 札幌市は、「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考えの下、道内全ての市町村と意見交換会を実施して、顔の見える関係を構築するとともに、市町村のニーズを把握した上で、新たな価値の創造や経済循環の促進に向けて、道内市町村が協働した体制整備に取り組んでいる。